

平成30年度決算に係る

定期監査調書

平成31年4月

関西本部

(

(

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1
	(2) 監査意見	1
	(3) 決算審査意見	1
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	決算調書(総括表)	12
8	事業別実施状況調べ	12
9	予備費の充用調べ	12
10	繰越関係調べ	12
	(1) 継続費逋欠繰越調べ	12
	(2) 繰越明許費調べ	12
	(3) 事故繰越調べ	12
11	収入証紙取扱額調べ	12
12	収入事務処理状況調べ	12
	(1) 分担金及び負担金	12
	(2) 使用料	12
	(3) 手数料	12
	(4) 財産収入	12
	(5) 寄付金	12
	(6) 諸収入	13
	(7) 現金の取扱状況	13
13	税外収入未済額調べ	13
14	未収金回収促進のための取組状況調べ	13
15	税外収入不納欠損額調べ	13
16	債務負担行為の状況調べ	14
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	14
	(1) 負担金	14
	(2) 補助金	14
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	14
	(3) 交付金	14
	(4) 委託料	15
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	15
18	工事請負費調べ	16
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替えを受けて執行したもの)	16
19	財産に関する調べ	16
	(1) 公有財産	16
	(2) 金券類の受払状況	17
	(3) 基金	17
	(4) 債権	17
20	財産の貸付け及び使用許可調べ	18
	(1) 土地及び建物	18
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	18
21	借受不動産明細調べ	19
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	19
	(1) 職員住宅	19
	(2) 職員駐車場	20

23	寄附物件の受納状況調べ	20
24	備品の処分状況調べ	20
25	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20
	(2) 物品の照合	20
26	貸付金等状況調べ	20
	(1) 総括表	20
	(2) 償還状況	20
27	企業誘致の状況	21
28	県内物産の展示、宣伝、紹介の状況	27
29	観光宣伝の状況	31
30	県外本部・代表部庁舎に入居している団体等の調べ	36
○	意見、要望等	36

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
1 支出負担行為の事務手続について '17食博覧会・大阪の出展に係る負担金について、支出負担行為の事務手続が遅延していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	事業実施前には一部負担金額が不確定であったため、担当者が事前に支出負担行為を行わず額が確定するまで留保してしまったこと並びに上司の業務進捗管理が不十分であったことが原因である。 監査指摘を受けて、平成30年度年度の事務処理については、業務の進捗管理を徹底し、会計処理が遅滞することのないよう対応を行った。 再発防止のため、事後でなければ額が確定しない場合であっても、見込額で事前に支出負担行為を起こすよう、チーム長会議で所属内に徹底した。また、業務の進行管理を適切に行い、遑り等不適切な会計処理を行うことがないよう、チーム長会議で所属内に徹底した。
2 支出負担行為の事務手続について JR大阪駅における鳥取県観光情報発信業務に係る委託契約について、遑って契約していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	委託する業務が複数あり、そのうちの主要業務を強く意識していたことから、先行して着手すべき業務を担当者が失念していたこと及び上司の業務進捗管理が不十分であったことが原因である。 監査指摘を受けて、今年度の事務処理については、業務の進捗管理を徹底し、会計処理が遅滞することのないよう対応を行った。 再発防止のため、業務の進捗管理を適切に行い、遑り等不適切な会計処理を行うことがないよう、チーム長会議で所属内に徹底した。
3 予定価格の決定について 「食のみやこ鳥取県」ブランド化推進事業ブランド力向上業務委託契約について、積算金額を上回る額で契約していたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われたい。	担当者の予定価格の積算に対する認識が不足していたこと並びに上司による積算資料のチェックが不十分であったことが原因である。 再発防止のため、関係規則の認識を高め、起案の内容について、担当者だけでなく副査及び上司もしっかりチェックするよう、チーム長会議で所属内に徹底した。

(2) 監査意見 該当なし

(3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
関西本部	企業立地・移住促進・ 県立ハローワーク チーム	・県行政に必要な情報の収集及び資料の調査に関すること。 ・関西地域等の商況、中京地域等の農産物市場の状況等の調査及び情報連絡に関すること。 ・県内物産の販路開拓、宣伝及び紹介に関すること。
	観光・情報発信チ ーム	・観光の宣伝に関すること。 ・関西地域等の企業の誘致に関すること。 ・県内産業の振興に係る情報収集及び連絡調整に関すること。
	販路開拓チーム	・県内への定住促進等に関すること。 ・無料の職業紹介及び県内企業の人材の確保に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	
定 員	8	8	2	2	0	0	10	10	
現 員	(1) 9	() 8	() 2	() 2	() 0	() 0	(1) 11	() 10	休職1
過不足(Δ)	1	0	0	0	0	0	1	0	休職中の職員が1名いるため
臨時職員							0	0	
非常勤職員	8	8	0	0	0	0	8	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事務 1名 ・販路開拓コーディネーター 3名 ・企業誘致担当参与 1名 ・技術コーディネーター 1名 ・就職コーディネーター 1名 ・大学連携コーディネーター 1名

5 役付職員の調べ

(平成31年4月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
本部長	中原 美由紀	1	0	1年2月
副本部長	岸田 孝之	0	0	
企業立地・移住促進・県立ハローワークチーム長	岡 秀一	0	3	
観光・情報発信チーム長	西尾 佳子	1	0	出納員
販路開拓チーム長	榎野 弘之	2	0	
主幹	田村 隆志	0	3	2年
主幹	横地 義照	1	0	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県へ「いらっしやい」事業	25,873			25,873
鳥取元気プロジェクト	(3) まちを元気に J R 豪華寝台列車の誘致など鉄道を活用した観光誘客			
元気づくり総合戦略	I 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (1) 観光・交流 ③広域連携による観光誘客の推進			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

本県の観光客誘致や販路開拓にとって非常に大きな商圏である関西圏において、関西の媒体を使い本県のメモリアルな観光地やその時々の特ピックス・ゆかりのキャラクター等を活用した本県のPR活動を行い、本県に対する好感度の向上、宿泊を伴う観光客の増加を図る。

(イ) 事業の実施状況

○関西圏のマスコミを活用した情報発信

年間を通じ、テレビ、新聞等の各マスコミ媒体を活用して発信した。

区分	項目	内容	訴求範囲	時期
テレビ	毎日放送「ちんぷいぷい」	旬の農産品等を紹介し、併せてプレゼント企画として提供	関西全域	H30年 5月外
テレビ	読賣テレビ「関西情報ネットten」	「初夏の鳥取県スペシャル」として大山、倉吉等の観光・食を2週連続で紹介	関西全域	H30年 6月
新聞	スポーツ報知(全面・広告及び記事)	松葉がにの解禁に合わせ、蟹取県ウェルカニキャンペーン等鳥取の観光を紹介	関西全域 中四国地域	H30年12月
雑誌	春ぴあ関西版「鳥取県特集」	アクティビティを中心とした鳥取県の春夏の魅力を紹介	冊子7万部 抜刷1万4千部	H31年 2月

※個別調書のとおり。

○県内団体等と連携した催事による情報発信

市町村など県内団体と連携し、大阪駅などで観光PRイベントを実施した。

地域	項目	内容	連携団体	時期
兵庫	鳥取県観光物産展(宝塚北サービスエリア)	・鳥取すいかのPRとあわせて、車を利用した鳥取県への観光PR ・特産品の販売と鳥取県観光PR	・全農とっとり、大阪中央青果他 ・物産協会他	H30年 6月 H31年 3月
大阪	鳥取県観光PRイベント「なるほど!鳥取の夏2018」(大阪鶴見)	試食等を通じた鳥取すいかの魅力発信、夏休みに向けた鳥取県の観光PR	鳥取市、倉吉市、大山町、若桜町観光協会、傘踊り団体他	H30年 7月
大阪	大阪ミナミ夏祭り2018 & にぎわいスクエア(道頓堀)	鳥取県内事業者との共同出店による物産販売と鳥取県観光PR	境港市、北栄町、大山観光局、とっとり花回廊、民間事業者	H30年 7月
大阪	道頓堀リバーフェスティバル2018(湊町リバープレイス他)	鳥取県内事業者との共同出店による物産販売と鳥取県観光PR	観光協会(米子市・境港市・若桜町)、大山観光局他	H30年10月
大阪	鳥取県観光物産展(JR高槻駅)	冬の鳥取県観光PRと特産品の販売	鳥取市、智頭急行他	H30年12月
大阪	冬の鳥取県観光フェア(イオンモール伊丹昆陽)	ウェルカニキャンペーン等冬の鳥取県観光PR及び移住情報の発信	鳥取市、鳥取県観光連盟	H30年12月

※個別調書のとおり。

○高速道路活用事業

- ・高速道路沿線情報誌への広告掲載等を通じて、利用客に向けて情報発信した。

誌面・号	内容	訴求範囲	時期	発行部数
遊・悠・West関西版・夏	星取県	関西圏	夏	約10万部
遊・悠・West西日本版・9-10月号	大山	西日本全域	秋	約85万部
遊・悠・West関西版・冬	蟹取県ウエルカニキャン ペーン	関西圏	冬	約10万部

※この他、サービスエリア常設枠（4箇所）に鳥取県観光ガイドマップ等を配架した。

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・鳥取県にゆかりのある報道関係者への情報提供や、マスコミキャラバンにより新聞社等を直接訪問し情報提供を行うなど、マスコミとのつながりを強化した。マスコミキャラバンの際には新聞社だけではなくWEB記事でイベント情報等を発信している関西ウォーカーを新たに訪問した。
- ・高速道路サービスエリアへのパンフレットの配架等のみではなく、平成30年3月にオープンした西日本最大級の規模で日々多くの方が利用する宝塚北サービスエリアを活用して鳥取すいかのPRとあわせて観光PRを行うなど、新しい取組を実施した。
- ・旅行会社と連携し、企業に対する鳥取県への誘客や店頭・Web等での鳥取県観光PRを強化した。
- ・外国人特派員による外国人目線での観光スポットの取材、動画制作を行い、SNSを活用した新たな情報発信に取り組んだ。

ウ 成果及び効果

- ・松葉がに解禁、水木しげる生誕祭事前告知等のマスコミキャラバンを関係課と連携して積極的に行った結果、発信したい情報が記事掲載され、タイムリーな情報発信となった。
- ・平成30年7月から12月までの旅行会社との連携事業において、企業に対する鳥取県への誘客を強化した結果、対前年同期の企業の団体旅行人数を170%上回った。
- ・昨年3月に新たにできた利用者の多い宝塚北サービスエリアを活用し、食・観光PRを行ったことにより、多くの車利用者に対して鳥取県の観光PRを行うことができた。
- ・利用者の多い「YouTube」や「Weibo」などのSNSを通じ、ターゲットを外国人に絞って大山登山やたいまつ行列など大山の魅力をもっと発信することができた（YouTube：718回再生 Weibo：1201回再生）。
- ・女性を対象に鳥取県の食材を使ったお菓子づくりと観光PRイベントを開催し、32名の定員に対し223名から応募があるなど関心を集めた。イベント後の参加者の満足度は高く、「鳥取の星空を見に行きたい」「これまで鳥取に蟹のイメージがなかったが、鳥取に蟹を食べに行きたい」など、好意的な意見が多く聞かれた。参加者募集やイベントの様子、参加者の声について、女性向けのフリーペーパーとタイアップして情報発信したことにより、参加者以外の方にも広く鳥取県の魅力ある食・観光情報を発信することができた。
- ・山陰デスティネーションキャンペーンをきっかけにJR高槻駅とのつながりができたことから、駅でイベントを実施し、駅構内を通過する多くの人に対して鳥取県の観光PRができたほか、物産販売も好評であった。

エ 課題

- ・「北陸」「南紀」「瀬戸内」「四国」など多くの競合関係が存在するため、マスコミ等を通じた鳥取県の旬の情報・話題を機会を逃さず発信していく必要があることから、より一層、マスコミ等とのつながりを強化し、情報発信をしやすい体制を整えることが必要である。
- ・引き続き旅行会社と連携し、実際に誘客につながるような取組が必要である。
- ・情報を一気に拡散するなどのメリットのあるSNS等を活用し、有効な情報発信を行っていく必要がある。
- ・平成31年度は山陰道鳥取西・青谷間が開通し、鳥取県の東西間がスムーズに移動しやすくなることから、開通の好機を捉えて、鳥取県の魅力ある観光や食等の情報発信を強化することが必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
メイドイン鳥取県 関西・中京圏販路開拓事業	30,118		59	30,059
鳥取元気プロジェクト	Ⅱ 産業を元気に ① トップブランド戦略を含め食のみやこ県産品ブランド化事業			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県に近い大消費地である関西・中京圏において、「食のみやこ鳥取県」の認知度向上を図るため、県産食材のブランド化、旬の農林水産物のPR、6次産業化・農商工連携で開発された新商品等の販路開拓を総合的に行う。

(イ) 事業の実施状況

A 「食のみやこ鳥取県」ブランド推進事業

関西で有名な高級料理店や百貨店・量販店等においてブランド化を目指す農林水産物等のPR活動を行った。

a) 関西で著名な食のプロデューサー及び有名料理人(以下「プロデューサー等」という。)や食関連企業等と連携し、県産食材のブランド化に向けた取組を行った。

① 県産食材勉強会の開催

プロデューサー等に対して、旬の県産食材を提案するとともに、厳選された県産食材の生産者を招いてブランド力を高めるための意見交換等を行った。

【開催実績】

回数	店舗	有名料理人参加者数	生産者	提案食材数
13回	メゾン・ド・タカ芦屋、日本料理翠、パティスリーJS等	延39名	延11名	延190品目

② 生産現場の視察

日時：7月3日(火)

場所：琴浦町の和牛繁殖・肥育農家、赤碕町漁協、北栄町の鳥取すいか選果施設、鳥取市の鳥取地どりピヨ生産施設、鳥取市のグリーンアスパラガス生産農家、八頭町のミディトマト生産農家、若桜町獣肉解体処理施設

参加者：(一社)日本鉄板焼協会会員、(株)牛長、JA全農ミートフーズ(株)

日時：7月9日(月)、10日(火)

場所：若桜町獣肉解体処理施設、八頭町のミディトマト生産農家、伯耆町の和牛繁殖・肥育農家、米子市のニンジン生産農家、大山町のスイートコーン生産農家、JA鳥取西部、赤碕町漁協

参加者：メゾン・ド・タカ芦屋 料理長 高山 英紀 氏
懐石鷺風 店主 西川 健一郎 氏
レストランプレスキル シェフ 佐々木 康二 氏

外3回実施

b) 旬の農林水産物のPR

百貨店・量販店等で、県内農林漁業団体等と連携し、旬の農林水産物(らっきょう、鳥取すいか、梨[二十世紀、新甘泉、王秋]、柿[輝太郎、花御所]、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ、鳥取和牛、しいたけ、クロマグロ、アカモク、ヤマトシジミ、アカイカ、ズワイガニなど)の販売PRを行った(随時)。

c) 旬の農林水産物の食育の取組

県内農業団体や関西青果物販売企業、関西水産物販売企業等と連携し、関西圏の児童・生徒・学生等を対象に、旬の農林水産物の栽培方法等の紹介や調理実習、試食会等を行った(延5回)。

B 販路開拓コーディネーターの販路開拓支援事業

a) 展示商談会の開催

(株)鳥取銀行、(株)山陰合同銀行、鳥取県商工会連合会、鳥取商工会議所、米子商工会議所、倉吉商工会議所、境港商工会議所、(公財)鳥取県産業振興機構、鳥取県信用保証協会と連携し、関西圏での展示商談会を開催した(開催日:2月19日、会場:ハグミュージアム(大阪市西区)、県内参加事業者:29社、来場バイヤー等:64社・104名)。

b) 百貨店・インショップでの「鳥取県フェア」等の開催

① 百貨店で(一社)鳥取県物産協会等と連携し、県内事業者の出展による「鳥取県フェア」を開催し、「食のみやこ鳥取県」の情報発信を行った(10~11月:大丸京都店)。

② インショップにおけるPR活動の展開

インショップ(4箇所)において定期的にPRイベントを行った。

名称	実施回数
(株)光洋ピーコックストア千里中央店「トリピーショップ」	年12回
あべのハルカス近鉄本店「鳥取県特産コーナー」	年4回
いしはら商店「鳥取チャレンジコーナー」	年4回
中国自動車道加西サービスエリア上り線「とっとりの逸品コーナー」	年3回

c) 営業活動

関西・中京圏の買い手企業(以下「バイヤー等」という。)への販路開拓コーディネーターによる県産品の売込みや県内事業者の同行営業等を通じて、県産品の定番化や県内事業者の営業活動の自立支援を行った。

販路開拓コーディネーターの営業回数	927回
販路開拓コーディネーターの同行営業回数	91回

※平成30年12月末現在

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

A 「食のみやこ鳥取県」ブランド推進事業

- ・ 厳選された県産食材のブランド力をさらに高めるため、県内生産者を県産食材勉強会の会場に招き、他産地の同種食材と比較しながら意見交換を行うことにより、県内生産者の気付きや意欲向上につなげた。
- ・ 食育の取組を水産物でも行い、「食のみやこ鳥取県」のさらなる認知度向上に努めた。

B 販路開拓コーディネーターの販路開拓支援事業

- ・ 既存取引先への新商品の紹介に加え、新規取引先のさらなる掘り起こしを図った。
- ・ 定番取引の拡大を図るため、バイヤー等のニーズを汲んだパッケージ改良等の売れる商品づくりを強化した。

ウ 成果及び効果

A 「食のみやこ鳥取県」ブランド推進事業

- ・ 働きかけを行った店舗に「船上活〆釣サワラ」、「ねばりっこ」、「鳥取茸王」、「鳥取地どりピヨ」等が採用され、旬のメニューとして複数年継続採用されている食材も出てきた。
- ・ 県内生産者が有名料理人から直接助言を得たり、他産地の同種食材と比較されたりする場を設けることで自身の生産物に対する品質向上への意欲を高める効果があった。

【取引実績店舗数】

年度	H27	H28	H29	H30
店舗数	3	17	25	31

B 販路開拓コーディネーターの販路開拓支援事業

- ・ 定番商品数は、近年、年間300商品程度に推移している。

【県産品の定番商品数の推移】

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30.12末
定番商品数	168	198	332	270	461	319	385	341	190

エ 課 題

A 「食のみやこ鳥取県」ブランド推進事業

- ・ 県産食材の定期的な採用につなげるため、関西有名料理店とつながりがある小売店、仲卸等も対象に、旬の食材提案を引き続き行っていく必要がある。
- ・ 県産食材のブランド力をさらに向上させるため、県内生産者がプロのニーズや視点を把握し、意見交換しながら、品質改善につなげる機会を引き続き設けていく必要がある。
- ・ 関西・中京圏における「食のみやこ鳥取県」の認知度向上を図るため、継続的かつ効果的に旬の農林水産物のPR活動を行っていく必要がある。

B 販路開拓コーディネーターの販路開拓支援事業

- ・ 関西・中京圏の営業先のニーズを把握した売れる商品の提案に至らない場合があることから、営業先のニーズをくみ取って県内事業者の新商品開発やパッケージ改良等に活かすとともに、新たな取引先への販路開拓に努めていく必要がある。
- ・ さらなる販路拡大のため、商談会に参加するバイヤー等について中京圏を含めた新たな発掘が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
大学との連携による就職応援・地域づくり推進事業	6,220		11(雑入)	6,209
鳥取元気プロジェクト	(3) まちを元気に 4年間で1JUターン4千人達成プロジェクト			
元気づくり総合戦略	2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む ～鳥取+住む～ (2) 人財とっとり (2) 地域を支える人財の育成			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県内企業等への人材確保を視野に入れ、県内企業等への就職支援を主目的とする協定大学等と連携しながら、学生の1JUターン就職の促進に資するとともに、県内大学にはない強みを活かして地方創生・とっどりの元気づくりの推進を図る。

※(公財)ふるさと鳥取県定住機構(直接の就業支援を行う)と連携しつつ実施

(イ) 事業の実施状況

【関西圏の大学との連携事業】

- ・新入生ガイダンス(4月、龍谷大学ふるさとタイム)
- ・県出身学生、教職員、鳥取県関係者等との交流会(7月、龍谷大学とっどりの集い)
- ・とっとりWorkWorkバスツアー(県内企業視察、若手社会人との意見交換)(8月)

時期	行程	視察先	意見交換	参加者数
H30.8.8	京都 ～ 倉吉	(株)リトルパリス倉吉 グットスマイルカンパニー(株) (株)バルコス	(株)リトルパリス倉吉、(株)明治製作所、社会福祉法人敬仁会、倉吉市役所	学生30名 大学職員2名
H30.8.9	大阪・神戸 ～ 鳥取・八頭	大江ノ郷自然牧場 (株)新日本海新聞社 (株)鳥取スター電機	大江ノ郷自然牧場、(株)アクシス、気高電機(株)、鳥取県生活協同組合	学生15名

- ・とっとり就活準備ゼミ in 大阪(12月)
- ・とっとり就職カフェ(県出身就活生等と内定学生・企業との交流会)(11月～2月)

時期	場所	参加学生
H30.11.17	立命館大学	5名
H30.11.19	龍谷大学(深草)	10名
H30.11.28	関西大学	14名
H30.12.1	京都女子大学	8名
H30.12.7	近畿大学	3名
H30.12.11	神戸学院大学	6名
H31.1.9	龍谷大学(瀬田)※理系向け	1名
H31.1.11	京都橘大学	6名
H31.1.16	京都産業大学	8名
H31.1.24	大阪商業大学	3名
H31.2.1	神戸女子大学	10名
H31.2.7	武庫川女子大学	14名

- ・業界研究セミナー(理工系学生向けの企業紹介・交流会)(11月)

時期	場所	参加学生	備考
H30.11.17	立命館大学	2名	
H30.11.21	関西大学	15名	※福井県と共催

【新たな大学との連携協定の締結】

時期	大学名	備考
H30. 7. 10	京都橋大学	就職支援協定
H31. 2. 4	甲南大学	就職支援協定

【非常勤職員の配置】

- ・大学連携コーディネーター（1名）の配置、各種連携事業の推進

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・とっとり WorkWork バスツアーでは、倉吉市と連携し、これまで訪問実績のなかった県中部の企業を訪問した。
- ・昨年度より着手した理工系学生を対象とした事業を中心に、学生と企業との交流事業（とっとり就職カフェ・業界研究セミナー）の実施回数を、前年度より大幅に増加させた。（H29：9回、参加学生92名→H30：14回、参加学生105名）
- ・県出身大学生に向けてイベント情報等を直接呼びかけることを目的に、高校卒業のタイミングで関西圏へ進学予定の3年生へ、進学先や電子メールアドレス等の登録を呼びかけるチラシを作成、教育委員会事務局と連携して配布した。特に倉吉東高と米子東高では、卒業間近の高校生を対象とした説明会を開催した。

ウ 成果及び効果

- ・協定大学と連携した交流会及び就職カフェ・業界研究セミナー（延べ105名参加）、Uターン就職準備ゼミ等での直接的な働きかけにより、学生のIJUターン就職に向けての意識醸成に寄与した。
- ・就職カフェ・業界研究セミナー参加学生のアンケート（計88名回答）では、ほぼ全ての学生がイベントには「満足」又は「ほぼ満足」したとの評価が得られた。
- ・平成30年度は新たに京都橋大学及び甲南大学と就職支援協定を締結し、大学とともにIJUターン就職支援を強力に推進する基礎を築いた。

エ 課題

- ・就活生を主対象としたバスツアー・就職カフェ等は、県内企業への理解を深めてもらう貴重な機会であり、参加者の満足度も高く好評であることから、より多くの学生の参加につながるための積極的な広報周知活動が重要である。
- ・協定大学との連携事業の本格化に伴い、学生のUターン就職率はこれまで漸増傾向であったが、平成30年度は4.6ポイント減となった（県出身学生の就職状況等調べ H23：25.5%→H29：34.8%→H30：30.2%）。県内産業の発展を担う人材確保のため、学生に対するより積極的なアプローチが必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財 源 内 訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
関西圏経済交流推進事業	2,837		295	2,542
鳥取元気プロジェクト	(2)産業を元気に 航空機・自動車部品や医薬健康関連など将来を見据えた企業誘致			
元気づくり総合戦略	3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ ～鳥取+rhythm～ (2)働く場 (1)鳥取県産業の特徴を活かした正規雇用の場の拡大			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

関西圏と本県との経済団体間、企業間等の経済交流を一層拡大することで、本県への新規立地や産学官連携及び本県企業の関西におけるビジネスチャンスの拡大を図るとともに、進出企業との関係強化、フォローアップの充実により、増設・県内への拠点集約を目指す。

(イ) 事業の実施状況

事業名	決算額	事業内容				
とっとり経済交流セミナー in 関西	1,976千円	<p>関西財界・進出企業のトップと県行政・経済界のトップの交流と信頼関係の醸成を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日・場所</td> <td>1/16 帝国ホテル大阪 (大阪市)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>進出企業代表者、関西経済界関係者、関係企業、知事、市町村長、県内関係団体 等 157名</td> </tr> </table>	開催日・場所	1/16 帝国ホテル大阪 (大阪市)	参加者	進出企業代表者、関西経済界関係者、関係企業、知事、市町村長、県内関係団体 等 157名
開催日・場所	1/16 帝国ホテル大阪 (大阪市)					
参加者	進出企業代表者、関西経済界関係者、関係企業、知事、市町村長、県内関係団体 等 157名					
商工会議所加入・展示会出展	408千円	<p>関西7商工会議所に加入し企業情報収集とネットワーク構築を図るとともに、展示会に出展した。</p> <table border="1"> <tr> <td>加入商工会議所</td> <td>大阪、京都、神戸、姫路、東大阪、尼崎、守口門真</td> </tr> <tr> <td>出展展示会</td> <td>テノメット東大阪 11/7～8 約8,000名 NIKKOフェア 2/7～8 約6,500名</td> </tr> </table>	加入商工会議所	大阪、京都、神戸、姫路、東大阪、尼崎、守口門真	出展展示会	テノメット東大阪 11/7～8 約8,000名 NIKKOフェア 2/7～8 約6,500名
加入商工会議所	大阪、京都、神戸、姫路、東大阪、尼崎、守口門真					
出展展示会	テノメット東大阪 11/7～8 約8,000名 NIKKOフェア 2/7～8 約6,500名					
関西経済連合会との連携	453千円	<p>関経連内に設置していただいている鳥取サポーターチーム(※)と連携し、セミナーや県内企業とのマッチングを目的とした商談会を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td>セミナー</td> <td>1/31 とっとり発 医療機器開発 産学連携セミナー (42名参加)</td> </tr> <tr> <td>県内視察</td> <td>3/25 鳥取大学医学部附属病院、とっとりバイオフロンティア</td> </tr> </table> <p>※鳥取サポーターチーム……H20年度から関西経済連合会では地域を支援していくため近畿ブロック知事会の会員である府県に対するサポーターチームを結成し各府県との協力体制をとっている。鳥取県はH21年度から「鳥取サポーターチーム」を結成していただいている。</p>	セミナー	1/31 とっとり発 医療機器開発 産学連携セミナー (42名参加)	県内視察	3/25 鳥取大学医学部附属病院、とっとりバイオフロンティア
セミナー	1/31 とっとり発 医療機器開発 産学連携セミナー (42名参加)					
県内視察	3/25 鳥取大学医学部附属病院、とっとりバイオフロンティア					

イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 鳥取県が将来の成長分野として期待する企業に対する誘致活動や、本社機能の移転、進出企業の新たな投資の促進を図るための企業訪問を行うとともに、市町村とも連携した企業誘致を図った。また、関西経済界からの情報収集を図るため、関経連や商工会議所などとの連携をより一層図った。

ウ 成果及び効果

- 平成28年度まで誘致企業を主な参加者として実施していた「鳥取県サポーターズ企業交流会」を、平成29年度からは進出に至っていない交渉中の企業などにも参加を呼びかけるとともに名称も「とっとり経済交流セミナー」と改めることにより、関西圏の企業と県の活発な交流が一層促進された。また、平成30年度については、展示・情報発信ブースをこれまで以上に充実し、観光情報、移住促進、ふるさと納税等についてPRを行った。

工 課 題

- ・有効求人倍率が、高水準で推移しており、都市部においては、労働力がひっ迫し人材の確保が企業誘致を図る上で最も重要なポイントとなっている。鳥取県においても引き続き、関西などからの人材移住や学生のUターン就職の増加に力を入れる必要がある。
- ・県内企業の受発注の拡大に向けて、関西圏企業とのビジネスマッチングを進めるため、関西経済界への一層の働きかけを企業の人材育成や設備の充実と併せて行っていく必要がある。
- ・県内産業の高付加価値化と競争力強化を図るため、県内企業への波及効果が見込まれる企業の誘致や、本社機能の一部の県内への移転のための取組を一層進めていくことが必要である。

- 7 決算調書 別途提出
- 8 事業別実施状況調べ 別途提出
- 9 予備費の充用調べ 別途提出
- 10 繰越関係調べ 別途提出
- 11 収入証紙取扱額調べ 該当なし
- 12 収入事務処理状況調べ 該当なし
- (1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

目	入 科 目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備 考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料		4	91,840	91,840	0	0		
		計(節)	4	91,840	91,840	0	0		
	目 計		4	91,840	91,840	0	0		
	合 計		4	91,840	91,840	0	0		

- (3) 手数料 該当なし
- (4) 財産収入 該当なし
- (5) 寄付金 該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑入	執務室光熱水費等		32	778,661	778,661	0	0		
	コピー代		32	173,596	173,596	0	0		
	宿舍貸付料		10	5,791,822	5,791,822	0	0		
	ビジネスフォーン料		6	62,208	62,208	0	0		
雑入	「とっとり経済交流セミナーin関西」 会費		1	302,400	302,400	0	0		
雑入	定住機構利用分に係る平成30年3 月利用分携帯電話料金		1	9,915	9,915	0	0		
	目計			7,118,602	7,118,602	0	0		
	合計			7,118,602	7,118,602	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
雑入	302,400	40	「とっとり経済交流セミナーin関西」会費
合計	302,400	40	

イ つり銭の状況

該当なし

13 税外収入未済額調べ

収入科目	目	節	区分	過年度			現年度			収入未済額(B)	収入未済額計(A+B)	未収理由	
				前年度以前からの繰越額	左のうち収入済額	不納欠損額	差引収入未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳	調定額				収入済額
雑入	執務室光熱水費等			0	0	0	0	0	0	778,661	778,661	0	2月末時点収入済
	コピー代			0	0	0	0	0	0	173,596	173,596	0	2月末時点収入済
	目計			0	0	0	0	0	0	952,257	952,257	0	
	合計			0	0	0	0	0	0	952,257	952,257	0	

14 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ

該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

(単位:円)

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約 額等	執行(支出)状況					備考	
		議決(補正・ 当初の別)	期間	限度額		設定年度 の執行額 A	債務負担行為の期間			合計 B		
							29年度までの 執行額	30年度 執行額	31年度以降の 執行予定額			
平成29年度 関西本部清掃業務委託	委託	平成29年12月	平成30年度 ～ 平成32年度	741,000	680,400	0	0	226,800	453,600	680,400	680,400	
平成30年度 関西本部機械警備業務委託	委託	平成30年12月	平成31年度 ～ 平成33年度	494,000	0	0	0	0	494,000	494,000	494,000	
合 計				1,235,000	680,400	0	0	226,800	947,600	1,174,400	1,174,400	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等(規約、 要綱等を含む。)	備考
新規以外のもの							5,666,305		
目 計							5,666,305		
合 計							5,666,305		

(2)補助金 該当なし

(3)交付金 該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)		完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約期間	契約形態		支出 区分	支出 年月日	金額	
県外事務所費	単県	高速道路媒体での 鳥取県の観光に関 する情報発信	NEXCO西日本コ ミュニケーション ズ	3,397,356	(H30.4.1) 3,348,000	H30.4.1 ~ H31.3.31	H30.3.23 (免除)					文書ID:17-00299918 ※契約の相手方選定理由:提案の あった企業でしか事業を実施できない ため。
県外事務所費	単県	「春びあ関西版」と 連携した鳥取県観 光情報発信業務	びあ株式会社	3,240,000	(H30.6.5) 3,240,000	H30.6.5 ~ H31.3.31	H30.5.28 (免除)					文書ID:18-00066313 ※契約の相手方選定理由:提案の あった企業でしか事業を実施できない ため。
県外事務所費	単県	平成30年度「食のみ やこ鳥取県」ブランド 推進事業ブランド力 向上業務委託	J-Tak(株)	4,322,160	(H30.5.17) 4,322,160	H30.5.17 ~ H31.3.31	H30.4.20 (H30.5.17)	未	概	H30.6.13	2,500,000	文書ID:18-00070531 本企画は契約の相手方による企画提 案であり他社には実施できないため。
県外事務所費	単県	平成30年度「食のみ やこ鳥取県」ブランド 推進事業ブランド定 着業務委託	(株)クリエテラ 西	5,490,936	(H30.5.22) 5,490,936	H30.5.22 ~ H31.3.31	H30.5.9 (H30.5.18)	未	概	H30.6.26	3,000,000	文書ID:18-00081451 本企画は契約の相手方による企画提 案であり他社には実施できないため。
上記の外、契約額が 250万円未満のもの											13,982,318	
目計											19,482,318	
合計											19,482,318	

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又はは令連を受けて執行したもの、該当なし)

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの) 該当なし

19 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

行政・普通 財産の 区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日	面積 (m ²)		価額(円)
行政財産	鳥取県関西本都	大阪市北区梅田1-1-3-2200大阪 駅前第3ビル22階	16.20	39,559,000	増加 減少	H H					16.20	39,559,000	
計			16.20	39,559,000	増加 減少	H H	0	0			16.20	39,559,000	
普通財産					増加 減少	H H					0	0	
計			0.00	0	増加 減少	H H	0	0			0	0	
合計			16.20	39,559,000			0	0			16.20	39,559,000	

(平成31年1月31日現在)

イ 建物

行政・普通 財産の 区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日	面積 (m ²)		価額(円)
行政財産	鳥取県関西本都	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階	186.74	139,991,000	増加 減少	H H					186.74	139,991,000	
計			186.74	139,991,000	増加 減少	H H	0	0			186.74	139,991,000	
普通財産					増加 減少	H H					0.00	0	
計			0.00	0	増加 減少	H H	0	0			0.00	0	
合計			186.74	139,991,000			0	0			186.74	139,991,000	

(平成31年1月31日現在)

ウ 山林 該当なし

エ 不動産売却等 該当なし

オ 財産の交換 該当なし

- カ 動 産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物 権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等) 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利 該当なし

(2)金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成31年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		受 入 額	払 出 額		
郵便切手及 び郵便はが	円 4,548	円 98,736	円 50,645	円 52,639	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシー クーポン券	0	0	0	0	
鉄道バス リペード	0	0	0	0	
合 計	4,548	98,736	50,645	52,639	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成31年1月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		差 引	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 99	枚 200	枚 149 197,780	枚 150	

(3)基金 該当なし

(4)債 権

(平成31年1月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本 年 度 中				差 引		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
交流室保証金	円 4,055,000	1	円		円		円 4,055,000	1	
合 計	4,055,000	1	0	0	0	0	4,055,000	1	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	鳥取市業務	大阪府北区梅田 1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階	9.9㎡	H30.3.15	H17.3.31	H30.4.1 ～ H31.3.31	月額・年額 820・9,840	0	鳥取市尚徳町116		文書ID 17-00282018
	米子市業務		3.3㎡	H30.3.15	S57.7.30		月額・年額 820・9,840	0	鳥取市 米子市加茂町1-1 米子市		
	倉吉市業務		3.3㎡	H30.3.15	H9.10.1		月額・年額 820・9,840	0	倉吉市菱町722 倉吉市		
	八頭町業務		3.3㎡	H30.3.15	H21.3.26		月額・年額 820・9,840	0	八頭町郡家493 八頭町		
	鳥取大学業務		3.3㎡	H30.3.15	H16.12.1		月額・年額 820・9,840	26,240	鳥取市湖山町南4-101 国立大学法人鳥取大学		
	鳥取県観光連盟業務		3.3㎡	H30.3.15	H19.3.30		月額・年額 820・9,840	26,240	鳥取市相生町4丁目411 公益社団法人鳥取県観光連盟		
	鳥取県物産協会業務		3.66㎡	H30.3.15	H21.4.16		月額・年額 820・9,840	19,680	鳥取市末広温泉町160 一般社団法人鳥取県物産協会		
	鳥取県産業振興機構業務		3.3㎡	H30.3.15	H9.8.1		月額・年額 820・9,840	19,680	鳥取市若葉台7-5-1 公益財団法人鳥取県産業振興機構		
計							91,840				
普通財産							月額・年額				
計								0			
合計								91,840			

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの) 該当なし

21 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	借料(円) 単価	借料(円) 本年度の借料	住所名	
建物	交流室	鳥取県関西本部 交流室	大阪府北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階	217.24㎡	有	H23.6.1 H30.4.1 ~ H31.3.31	月額・年額 610,971	7,331,652	大阪府中央区南船場1丁目18番17号 商工中金船場ビル1階 萬里商事株式会社	
合計				217.24㎡				7,331,652		

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 職員住宅
ア 管理状況

(平成30年4月30日現在)

宿舎名	所在地	戸数	入居戸数	貸付料(月額)	
				宿舎	駐車場
セントラルコートI	豊中市上新田1-74-1	1	1	40,700	-
イースコート桃山台	豊中市上新田3-5-1	1	1	23,500	-
ラクラス内本町	大阪府中央区内本町1-2-8	1	1	36,200	-
ベルエアI	豊中市岡上の町2丁目5-36	1	1	42,700	-
キオプラザ天満橋	大阪府北区天満1丁目4-19	1	1	45,000	-
アーデン谷町	大阪府中央区農人橋1-2-8	1	1	35,200	-
アーデン谷町	大阪府中央区農人橋1-2-8	1	1	33,500	-
アーデン谷町	大阪府中央区農人橋1-2-8	1	1	33,200	-
エテラ・カーサ	豊中市玉井町2-3-15	1	1	41,700	-
エテラ・カーサ	豊中市玉井町2-3-15	1	1	42,200	-
クラウンレスタ本町東	大阪府中央区徳井町2-2-7	1	1	39,700	-
アーバンワッツ上町	大阪府中央区上町A-18	1	1	34,000	-
イースト・大手前	大阪府中央区鈴鐘町2-2-12	1	1	34,200	-
SWISS京都堀川EAST	京都市上京区二丁目19-4	1	1	32,500	-
ゴールデンヒルズなかもず	堺市北区金岡町3043-2	1	1	33,200	-
アドバンス三宮シュロス	神戸市中央区八雲通1-1-23	1	1	31,100	-

イ 異動状況

月別	前月末		当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
	人	円	うち減免 人	円	人	円	うち減免 人	円				
4月	16				16	578,600		16	578,600			
5月	16				16	578,600		16	578,600			
6月	16		1		15	578,600		15	546,100			
7月	15				15	578,600		15	578,600			
8月	15			1	16	578,600		16	578,600			
9月	16				16	578,600		16	578,600			
10月	16				16	578,600		16	578,600			
11月	16				16	578,600		16	578,600			
12月	16			1	17	583,922		17	611,600			
1月	17				17	611,600		17				
2月												
3月												
合計									5,791,822			

(2) 職員駐車場 該当なし

23 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

24 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(原簿帳年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定年月日	不用とする理由	処分		備考
							売払方法・棄却理由	売払額・処分費用	
パーテーション(クロスパネル) (トッキー FSE-188AGC- WET5)	1	平成14年5月9日	15年	72,500円	平成30年9月11日	故障により使用不可 となったため。	棄却	平成30年12月18日	3,240円
MODライプPCカードセット (MOF-RM640/CS)	1	平成12年11月30日	5	56,490円	平成30年9月13日	規格の陳腐化に よる使用見込み がないため。	棄却	平成30年12月18日	259円
合計	2			128,990円					3,499円

25 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成30年8月27日	・有 ・無		

26 貸付金等状況調べ 該当なし